

四 半 期 報 告 書

(第68期第 2 四半期)

ペガサスミシン製造株式会社

(E01731)

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

ペガサスミシン製造株式会社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【事業等のリスク】	4
2 【経営上の重要な契約等】	4
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
第3 【提出会社の状況】	6
1 【株式等の状況】	6
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	19
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	20

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年11月6日

【四半期会計期間】 第68期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 ペガサスミシン製造株式会社

【英訳名】 PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 清 水 盛 明

【本店の所在の場所】 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

【電話番号】 06-6451-1351

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 舟 引 康 之

【最寄りの連絡場所】 大阪市福島区鷺洲五丁目7-2

【電話番号】 06-6451-1351

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 舟 引 康 之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第67期 第 2 四半期 連結累計期間	第68期 第 2 四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日	自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日	自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月 31 日
売上高 (千円)	4,941,620	6,817,257	10,170,750
経常利益又は経常損失(△) (千円)	△228,411	464,114	266,759
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失(△) (千円)	△152,433	290,917	174,934
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	42,373	1,888,835	1,391,839
純資産額 (千円)	9,088,269	12,436,792	10,396,682
総資産額 (千円)	18,298,368	21,919,074	18,843,423
1 株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額(△) (円)	△6.78	13.00	7.80
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	12.99	7.79
自己資本比率 (%)	47.7	54.0	53.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	368,825	△264,246	518,873
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△307,634	△536,986	△311,928
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	458,014	864,576	△161,740
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,153,136	3,417,702	3,004,770

回次	第67期 第 2 四半期 連結会計期間	第68期 第 2 四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年 7 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日	自 平成25年 7 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日
1 株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額(△) (円)	△10.26	6.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第67期第 2 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在しますが 1 株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

（ダイカスト部品）

平成25年4月10日付にて、嶋本ダイカスト株式会社と共同でダイカスト部品販売及び製造子会社として PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD. をベトナム社会主義共和国ドンナイ省に新規設立しております。

この結果、平成25年9月30日現在では、当社企業グループは、当社及び連結子会社の合計10社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、輸出の持ち直しに加え内需も堅調に推移し、景気は回復局面にありました。世界経済につきましては、欧州経済が厳しい歳出削減等により引き続き成長が抑制される一方、中国経済には底打ち感が出てまいりました。米国経済は住宅市場の回復などを追い風に、引き続き内需が堅調に推移してまいりました。

工業用マシン業界におきましては、世界経済の動きを反映し、アジアの新興国での設備投資意欲が旺盛であったほか、その他の地域でも工業用マシンの需要は堅調に推移いたしました。自動車部品を中心とするダイカスト部品に対する需要につきましては、欧州での完成車販売は低調に推移しましたが、米国に加え日本や中国市場での完成車販売が、底堅く推移したことを受け、順調に推移しました。

このような環境のもとで、工業用マシンにつきましては、需要増に応じた生産体制の整備や、市場のニーズに合わせた高級機の販売強化、適切な価格政策の推進などに努め、ダイカスト部品につきましては、品質の維持向上と増産に注力いたしました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68億17百万円（前年同四半期比38.0%増）となり、営業利益は4億44百万円（前年同四半期は営業損失1億円）、経常利益は4億64百万円（前年同四半期は経常損失2億28百万円）、四半期純利益は2億90百万円（前年同四半期は四半期純損失1億52百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（工業用マシン）

工業用マシンにつきましては、縫製産地の流動化や中国市場の質的变化に応じた販売戦略の展開に努めたほか、ベトナムでの生産機種、加工工程の拡大や中国生産拠点の合理化推進など、環境変化に対応した生産体制の整備にも注力した結果、売上高58億35百万円（前年同四半期比44.0%増）、営業利益6億52百万円（前年同四半期比647.8%増）となりました。

（ダイカスト部品）

ダイカスト部品につきましては、高品質を維持しつつ、一層の増産体制の整備を行うことにより、売上高9億66百万円（前年同四半期比11.0%増）、営業利益2億16百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

（その他）

その他につきましては、引き続きデータ入力業務やソフトウェア開発等に関するサービスの提供を行い、売上高16百万円（前年同四半期比14.2%減）、営業損失2百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30億75百万円増加し、219億19百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて24億62百万円増加し、154億36百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が12億30百万円増加し、現金及び預金が8億35百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6億13百万円増加し、64億82百万円となりました。これは、有形固定資産が3億40百万円増加したことなどによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億35百万円増加し、51億56百万円となりました。これは、短期借入金が1億53百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4億99百万円増加し、43億25百万円となりました。これは、社債が6億86百万円増加したことなどによります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて20億40百万円増加し、124億36百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が14億78百万円増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前年同四半期連結累計期間末に比べ2億64百万円増加し、34億17百万円（前年同四半期末比8.4%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、2億64百万円（前年同四半期は3億68百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益4億65百万円、減価償却費2億49百万円、たな卸資産の減少2億14百万円などがあったものの、売上債権の増加8億20百万円、仕入債務の減少3億84百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、5億36百万円（前年同四半期末比74.6%増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入7億81百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出10億51百万円、無形固定資産の取得による支出1億34百万円、有形固定資産の取得による支出1億17百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、8億64百万円（前年同四半期末比88.8%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出5億71百万円などがあったものの、社債の発行による収入8億79百万円、長期借入れによる収入4億円、少数株主からの払込みによる収入1億78百万円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間においては、当社企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社企業グループ全体の研究開発活動の金額は、1億97百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	76,928,000
計	76,928,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,780,000	23,780,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	23,780,000	23,780,000	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日	—	23,780,000	—	1,908,750	—	1,811,207

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社美馬	西宮市甲陽園西山町6番-27-314	1,553	6.53
ペガサスミシン製造株式会社	大阪市福島区鷺洲五丁目7-2	1,377	5.79
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	中央区晴海1丁目8-11	1,320	5.55
板 東 敬 三	兵庫県西宮市	861	3.62
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	830	3.49
吉 田 隆 子	京都市左京区	709	3.00
ペガサスミシン従業員持株会	大阪市福島区鷺洲五丁目7-2	675	2.84
美 馬 成 望	兵庫県西宮市	611	2.57
前 尾 和 男	和歌山県紀の川市	544	2.29
板 東 雄 大	大阪府豊中市	493	2.07
計	—	8,827	37.12

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,377,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,401,100	224,011	—
単元未満株式	普通株式 1,000	—	—
発行済株式総数	23,780,000	—	—
総株主の議決権	—	224,011	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) ペガサスミシン製造 株式会社	大阪市福島区鷺洲 五丁目7-2	1,377,900	—	1,377,900	5.80
計	—	1,377,900	—	1,377,900	5.80

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,008,418	4,843,681
受取手形及び売掛金	※1 2,748,061	※1 3,978,791
商品及び製品	2,582,504	2,826,948
仕掛品	443,148	526,248
原材料及び貯蔵品	2,945,953	2,980,303
その他	285,851	324,834
貸倒引当金	△39,952	△44,506
流動資産合計	12,973,985	15,436,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,289,612	2,457,238
その他（純額）	2,394,164	2,567,043
有形固定資産合計	4,683,776	5,024,282
無形固定資産	365,105	574,290
投資その他の資産	820,556	884,202
固定資産合計	5,869,438	6,482,774
資産合計	18,843,423	21,919,074
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※1 312,304	※1 295,370
短期借入金	2,293,654	2,447,262
未払法人税等	301,456	392,662
賞与引当金	81,638	104,232
その他	1,631,676	1,916,763
流動負債合計	4,620,730	5,156,291
固定負債		
社債	196,000	882,000
長期借入金	2,521,082	2,304,347
退職給付引当金	359,359	397,792
その他	749,568	741,851
固定負債合計	3,826,010	4,325,991
負債合計	8,446,740	9,482,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,906,750	1,908,750
資本剰余金	2,053,073	2,055,073
利益剰余金	7,283,268	7,574,185
自己株式	△394,610	△394,610
株主資本合計	10,848,482	11,143,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,273	82,348
為替換算調整勘定	△861,483	617,006
その他の包括利益累計額合計	△821,209	699,355
少数株主持分	369,410	594,037
純資産合計	10,396,682	12,436,792
負債純資産合計	18,843,423	21,919,074

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,941,620	6,817,257
売上原価	3,377,305	4,492,256
売上総利益	1,564,315	2,325,001
販売費及び一般管理費	※1 1,664,443	※1 1,880,078
営業利益又は営業損失(△)	△100,127	444,922
営業外収益		
受取利息	27,409	40,493
受取配当金	3,412	3,456
為替差益	—	29,212
不動産賃貸料	1,895	18,527
その他	5,185	17,967
営業外収益合計	37,902	109,657
営業外費用		
支払利息	48,569	53,742
為替差損	107,682	—
社債発行費	—	20,312
不動産賃貸費用	331	15,148
その他	9,603	1,261
営業外費用合計	166,186	90,466
経常利益又は経常損失(△)	△228,411	464,114
特別利益		
固定資産売却益	231,989	2,334
負ののれん発生益	22,411	—
特別利益合計	254,400	2,334
特別損失		
固定資産売却損	710	450
特別損失合計	710	450
税金等調整前四半期純利益	25,278	465,997
法人税、住民税及び事業税	87,075	157,006
法人税等調整額	71,848	4,331
法人税等合計	158,924	161,337
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△133,645	304,660
少数株主利益	18,787	13,743
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△152,433	290,917

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△133,645	304,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,719	42,075
為替換算調整勘定	204,738	1,542,100
その他の包括利益合計	176,018	1,584,175
四半期包括利益	42,373	1,888,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,119	1,811,481
少数株主に係る四半期包括利益	28,253	77,353

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,278	465,997
減価償却費	195,353	249,096
負ののれん発生益	△22,411	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,000	△840
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23,379	38,433
デリバティブ評価損益 (△は益)	7,917	△4,146
受取利息及び受取配当金	△30,822	△43,949
支払利息	48,569	53,742
社債発行費	—	20,312
為替差損益 (△は益)	△36,914	41,565
受取賃貸料	△1,895	△18,527
不動産賃貸費用	331	11,105
固定資産売却損益 (△は益)	△231,989	△1,883
売上債権の増減額 (△は増加)	58,052	△820,648
たな卸資産の増減額 (△は増加)	462,318	214,233
仕入債務の増減額 (△は減少)	△64,978	△384,291
未払金の増減額 (△は減少)	△19,394	27,126
その他	32,442	6,447
小計	457,238	△146,225
利息及び配当金の受取額	39,950	44,013
利息の支払額	△49,062	△62,077
法人税等の支払額	△79,300	△99,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	368,825	△264,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△851,512	△1,051,935
定期預金の払戻による収入	317,913	781,043
有形固定資産の取得による支出	△94,167	△117,105
有形固定資産の売却による収入	220,124	3,460
無形固定資産の取得による支出	△2,963	△134,956
投資有価証券の取得による支出	△85,099	—
投資有価証券の償還による収入	198,678	—
その他	△10,607	△17,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307,634	△536,986

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△762,000	113,940
長期借入れによる収入	1,950,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△384,075	△571,778
社債の発行による収入	—	879,687
社債の償還による支出	△232,103	△85,000
株式の発行による収入	—	4,000
少数株主からの払込みによる収入	—	178,571
少数株主への配当金の支払額	—	△31,296
自己株式の取得による支出	△103,120	—
その他	△10,686	△23,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	458,014	864,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,719	349,589
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	542,924	412,932
現金及び現金同等物の期首残高	2,610,211	3,004,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 3,153,136	※1 3,417,702

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
連結の範囲の重要な変更	
第1四半期連結会計期間より、新たに設立したPEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS(VIETNAM) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- ※1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高から除かれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	6,854千円	—
支払手形	58,090 "	—

(四半期連結損益計算書関係)

- ※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給料及び手当	381,817千円	427,876千円
賞与引当金繰入額	35,338 "	44,327 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- ※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	4,142,082千円	4,843,681千円
預入期間が3か月を超える 定期預金	△988,945 "	△1,425,978 "
現金及び現金同等物	3,153,136千円	3,417,702千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月28日 取締役会	普通株式	67	3.00	平成25年9月30日	平成25年11月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	工業用マシン	ダイカスト部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,052,961	869,961	4,922,922	18,698	4,941,620	—	4,941,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	8,138	8,138	△8,138	—
計	4,052,961	869,961	4,922,922	26,837	4,949,759	△8,138	4,941,620
セグメント利益又は損失(△)	87,209	224,185	311,394	△2,337	309,057	△409,185	△100,127

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△409,185千円には、セグメント間取引消去27千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△409,212千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	工業用マシン	ダイカスト部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,835,124	966,089	6,801,214	16,042	6,817,257	—	6,817,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	10,394	10,394	△10,394	—
計	5,835,124	966,089	6,801,214	26,436	6,827,651	△10,394	6,817,257
セグメント利益又は損失(△)	652,140	216,974	869,114	△2,850	866,263	△421,340	444,922

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンピュータソフト及びそれらの技術・サービスの開発・販売事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△421,340千円には、セグメント間取引消去757千円、各報告セグメントに配分していない全社費用422,098千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額(△)	△6円78銭	13円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	△152,433	290,917
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額(△)(千円)	△152,433	290,917
普通株式の期中平均株式数(株)	22,494,242	22,384,956
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	12円99銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	18,408
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社は、当社連結子会社であるペガサス(天津)ミシン有限公司において、次のとおり固定資産の譲渡を、平成25年11月1日開催の取締役会で決議いたしました。

(1) 譲渡の理由

当該子会社の経営資源の集中及び効率的な活用ならびに財務体質の強化を図るため、当該固定資産を譲渡することといたしました。

(2) 譲渡資産の概要

資産の内容及び所在地	帳簿価格	譲渡価格	譲渡益 (特別利益)	現況
・土地: 8,816㎡ (面積) ・建物: 12,180㎡ (延床面積) ・住所: 中華人民共和国天津市南開区 密雲一支路9号	586万元	4,080万元	2,384万元	事務所 工場

(3) 譲渡先の概要

譲渡先は、中華人民共和国天津市における一般事業者であります。先方との契約上の都合により、やむを得ず開示は控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社グループとの間には、資金的関係、人的関係、取引関係及び関連当事者のいずれも該当事項はなく、記載すべき事項はございません。

(4) 譲渡の日程

物件引渡期日 : 平成25年11月末日 (予定)

(5) 当該事象の連結損益に与える影響額

上記固定資産の譲渡により、平成26年3月期連結財務諸表において、固定資産売却益約3億69百万円(為替レートを1元15.5円(平成25年11月時点)として換算)を特別利益として計上する見込みであります。

2 【その他】

第68期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当について、平成25年10月28日開催の取締役会において、平成25年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- | | |
|----------------------|-------------|
| ① 配当金の総額 | 67百万円 |
| ② 1株当たりの金額 | 3円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年11月25日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月 5 日

ペガサスミシン製造株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

中

村

基

夫

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

岡

田

明

広

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているペガサスミシン製造株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ペガサスミシン製造株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月6日
【会社名】	ペガサスミシン製造株式会社
【英訳名】	PEGASUS SEWING MACHINE MFG. CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 清水盛明
【最高財務責任者の役職氏名】	—
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲五丁目7-2
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長清水盛明は、当社の第68期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。